

岐阜トヨペット株式会社の社会貢献活動の取り組み



岐阜トヨペット株式会社（以下、同社）では、経営理念のひとつとして『社会に役立つ活動を通じ、地域に貢献できる企業を目指します』と掲げられており、積極的に社会貢献活動に取り組まれています。

社会貢献活動の土台『グリーンキャンペーン』

1976年度に開始し、緑豊かな岐阜の風土を守るため、これまで県内20カ所の公園等に5,654本の苗木を贈呈・植樹を行われました。近年では、学校や施設に花壇を作り、植樹されています。



★ 代表的な活動 年2回開催の『全社大会』 ★

午前は全社で会社方針等の共有を行い、午後は事業場ごとに、地域清掃活動を実施。県内の全事業場（33箇所）それぞれで実施され、ほぼ全社員が参加されています。地域の方から後日お礼の手紙を貰うこともあり、やりがいにも繋がっているようです。

子ども食堂の調理ボランティア

同社は様々な社会貢献活動に取り組まれています。その中でも社会福祉施設で実施している子ども食堂の調理ボランティアとして参加されている社員さんもいらっしゃいます。

月1回の活動を、2020年より継続して行われており、そこで使用されている野菜も岐阜トヨペットが運営するファーム（農園）で育てられています。

本巣市と山県市にそれぞれファームがあり、無農薬・無化学肥料にこだわられています。ファームで収穫された野菜は道の駅で販売されており、また近隣の小学校に対して農業体験を通じた食育事業も実施されています。



子ども食堂の調理ボランティアの様子



同社が運営しているファーム

移動スーパーマルシェ

またファームで収穫された野菜の販売をしている移動スーパーのマルシェでは、地元の社協や民生委員の方々と協力され、週5日複数の地域に出向かれています。

依頼がある個人宅にも出向かれており、免許返納等で買い物に困っていらっしゃる地域の方にとって、非常にありがたい取り組みですよ。

またマルシェのドライバーは、同社のOBさんをご担当をされています。



どうしてこんなに様々な社会貢献活動をすることができるのですか？

社内全体に声が届きやすい環境であることですかね。

社員数は約500名おりますが、過去には社長や役員も交えた合宿を行い、今後の取り組みや方針について話し合う機会もありました。

また、子ども食堂の調理ボランティアは勤務時間内で活動をしています。会社の理解や後押しがあるからこそ、ボランティア活動にも取り組むことができると思います。

ボランティア休暇の創設や災害時のボランティア活動に対する一部費用負担も行っています。

活動の中には十数年以上継続しているものもありますが、やはり会社全体で社会貢献活動を進めているからこそ継続して実現ができていると思います。



今後検討していることはありますか？

今後は子どもさんと更に関わることができるような活動を検討しています！



担当社員さん

岐阜トヨペット株式会社では、ここに書ききれない程の様々な社会貢献活動をされています。

同社が発行している、『CSRレポート2022』のトップインタビューには、【業種業態関係なく、あらゆる枠を取り払っていろんなパートナーと一緒に、「岐阜をもっと良くして行きましょう」という同社の代表取締役社長からのお言葉がありました。このお言葉に私たちも習い、今後も関り合いを継続いただき、共に岐阜県をより良くしていければと思います。